

アイダホ州：小麦作柄と気象状況

2010 年 7 月 25 日現在

概況 アイダホ州の 2010 年 7 月 25 日に終わる 1 週間の気象は、N 地区では一部平年より気温が高目であったが、全州的には平年より低目の気温の乾燥気象となった。N 地区の最高気温は Lewiston にて 94 度 F を記録したがその他の観測所では 88～89 度 F であり、平均気温は平年より 1～3 度 F 低かった。SW 地区の最高気温は 94～103 度 F であったが、最低気温が低目であり、平均気温は平年を 1～4 度 F 下回った。全州にて降雨は極めて少なかった。1 週間の州平均農作業稼働日数は前週と同じ 6.8 日(前週:6.6 日)であった。Topsoil の土壌水分は前週より“ Surplus ” が減り“ Very Short ” が増加した。全州の冬小麦は 59 % (昨年同期：80%、5 年平均：86%) が黄熟期となったが、冬小麦の成熟は昨年より遅れていた。冬小麦の収穫は SW 地区にて始まったのみであった。春小麦は全州の 24% が黄熟期となったが、昨年同期では 31%、5 年平均では 47% であり、平年より成熟は遅れていた。冬小麦の作柄は日中の気温が高まり乾燥した気象であったこともあり、前週より評価が落ちた。春小麦の作柄は、前週より多少評価が上がり、“ Good ” から“ Excellent ” に変わる小麦があった。

土壌水分 (*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	4	25	70	1
	Last week	1	26	63	10

冬小麦の生育状況 (*)

(%)		North	Southwest	South-Central	East	State Ave.
Harvested	2010	--	1	4	--	1
	Last year	10	11	4	--	6
	Ave.	7	17	15	4	8

冬小麦の作柄状況 (*)

(%)		Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week		0	0	10	72	18
Last week		0	1	8	68	23

春小麦の生育状況 (*)

(%)		North	Southwest	South-Central	East	State Ave.
Headed	2010	80	100	100	86	86
	Last year	93	100	100	97	97
	Ave.	95	100	99	94	96

春小麦の作柄状況 (*)

(%)		Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week		0	1	3	85	11
Last week		0	1	3	87	9

*) Source : National Agricultural Statistics Service, USDA-Idaho Field Office. Ave. means average of 2005,2006,2007,2008 and 2009 crop years.

ご質問又はご意見は、OMIC USA Inc.小川正晃 ogawa.max@omicnet.comまでお願い致します。

2010 年 7 月 1 日付け USDA 冬小麦生産量予想

State	Area Harvested 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2009	2010	2009	2010		2009	2010
				June 1	July 1		
Idaho	700	740	81.0	85.0	87.0	56,700	64,380
USA	34,485	32,085	44.2	46.6	46.9	1,522,718	1,505,493

2010 年 7 月 1 日付け USDA 春小麦生産量予想

State	Area Harvested 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2009	2010	2009	2010		2009	2010
				July 1	-		
Idaho	530	540	77.0	80.0	-	40,810	43,200
USA	12,955	13,590	45.1	44.6	-	584,411	606,755

以上

ご質問又はご意見は、OMIC USA Inc.小川正晃 ogawa.max@omicnet.comまでお願い致します。